

# バランスセレクト30 (確定拠出年金向け) バランスセレクト50 (確定拠出年金向け) バランスセレクト70 (確定拠出年金向け)

追加型投信／内外／資産複合／インデックス型

## 交付運用報告書

第19期(決算日2020年5月11日)

作成対象期間(2019年5月11日～2020年5月11日)

<バランスセレクト30 (確定拠出年金向け)>

第19期末(2020年5月11日)	
基準価額	16,615円
純資産総額	53百万円
第19期	
騰落率	0.0%
分配金(税込み)合計	5円

<バランスセレクト50 (確定拠出年金向け)>

第19期末(2020年5月11日)	
基準価額	18,143円
純資産総額	145百万円
第19期	
騰落率	△0.3%
分配金(税込み)合計	5円

<バランスセレクト70 (確定拠出年金向け)>

第19期末(2020年5月11日)	
基準価額	19,271円
純資産総額	126百万円
第19期	
騰落率	△1.1%
分配金(税込み)合計	5円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として内外の株式および公社債に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

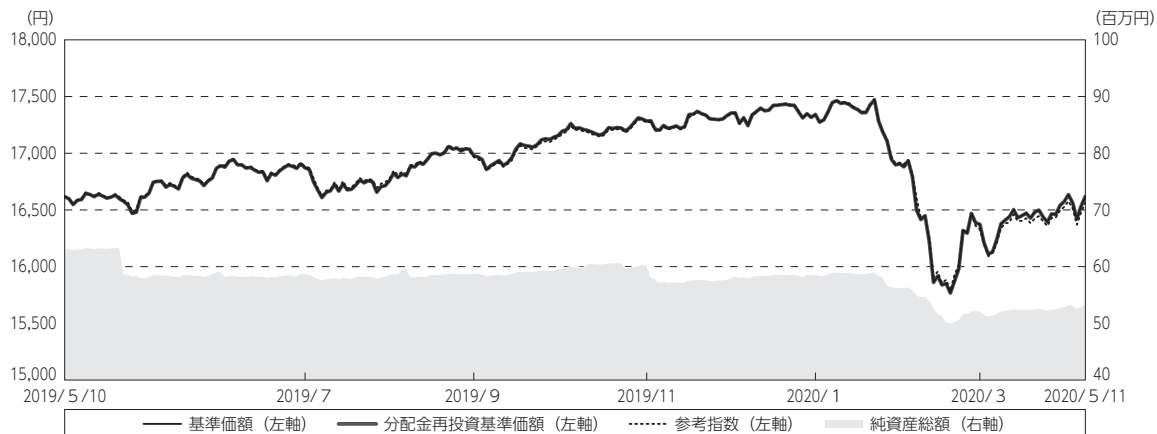
ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<バランスセレクト30（確定拠出年金向け）>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年5月11日～2020年5月11日)



期首：16,617円

期末：16,615円（既払分配金（税込み）：5円）

騰落率： 0.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを基本投資比率に基づいて合成した指数です。詳細は4ページをご参照ください。参考指数は、作成期首（2019年5月10日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資対象とする4本のマザーファンドの当期間の値動きは、外国債券（+4.5%）が上昇し、外国株式（-3.3%）、国内株式（-1.9%）、国内債券（-0.0%）は下落しました。

外国債券の上昇が主な値上がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2019年5月11日～2020年5月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 99	% 0.585	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投信会社)	( 43)	(0.254)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販売会社)	( 47)	(0.276)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受託会社)	( 9)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式)	( 0)	(0.000)	
( 新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
( 投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
( 先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式)	( 0)	(0.001)	
( 投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.006	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用)	( 0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用)	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( その他)	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	100	0.593	
期中の平均基準価額は、16,927円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

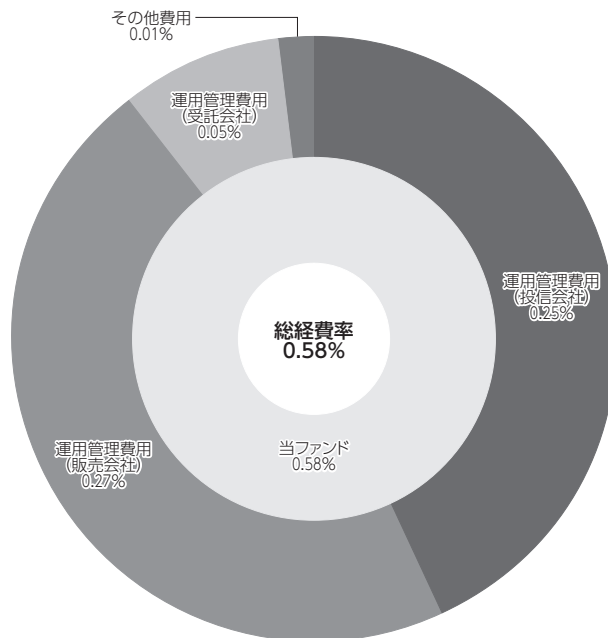
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.58%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2015年5月11日～2020年5月11日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2015年5月11日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年5月11日 決算日	2016年5月10日 決算日	2017年5月10日 決算日	2018年5月10日 決算日	2019年5月10日 決算日	2020年5月11日 決算日
基準価額 (円)	15,742	15,452	16,183	16,807	16,617	16,615
期間分配金合計(税込み) (円)	—	5	5	5	5	5
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	△ 1.8	4.8	3.9	△ 1.1	0.0
参考指数騰落率 (%)	—	△ 2.0	4.9	4.0	△ 1.0	△ 0.3
純資産総額 (百万円)	65	62	52	60	63	53

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

\*参考指数は、「国内株式マザーファンド」（ベンチマーク＝東証株価指数（TOPIX））、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」（ベンチマーク＝MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし））、「国内債券マザーファンド」（ベンチマーク＝NOMURA-BPI国債）、「外国債券マザーファンド」（ベンチマーク＝FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の各ベンチマークから、基本投資比率（国内株式20%、外国株式10%、国内債券55%、外国債券15%）に基づいて独自に合成した指数です。

\*MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）は、MSCIが開発したMSCI-KOKUSAI指数を当社が独自に円換算したものです。円換算にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場中値で円換算しております。

\*FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数値をもとにしております。

(出所) MSCI、FTSE Fixed Income LLC、野村證券株式会社、東京証券取引所、ブルームバーグ

投資環境

（2019年5月11日～2020年5月11日）

資産	変動要因等
国内債券	世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速懸念から現金需要が急増したことや、日本政府による経済対策で国債発行が増加するとの見方が広がったことなどを背景に、国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。
外国債券	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気の減速懸念から、主要国の中央銀行が政策金利の引き下げや金融緩和姿勢の強化を打ち出したことなどを背景に、外国債券利回りは米国を中心に低下（価格は上昇）しました。 為替レートは、新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや内外長期金利差縮小などを背景に、主要通貨は対円で下落（円高）しました。
国内株式	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う非常事態宣言などを受け経済活動の停滞懸念が高まったこと、円高に伴う国内輸出関連企業の業績悪化懸念などを背景に、下落しました。
外国株式	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気の減速懸念から3月にかけて下落しましたが、欧米で新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しがみられ段階的な経済活動の再開が示唆されたことなどから、4月以降は回復基調となりました。当運用期間では、欧州株式市場は下落しましたが米国株式市場が上昇し、外国株式全体では上昇となりました。 為替レートは、新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや内外長期金利差縮小などを背景に、主要通貨は対円で下落（円高）しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2019年5月11日～2020年5月11日）

各マザーファンドの日々の基準価額の動きの違いなどにより基本とする投資比率からの乖離が生じますが、原則として3ヵ月毎のリバランスや資金の追加解約に対応した売買などにより、当ファンドの基本とする投資比率からの乖離が小さくなるように運用を行いました。

なお、実質外貨建て資産については、為替ヘッジを行っておりません。

マザーファンドの運用経過については、22ページをご参照ください。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年5月11日～2020年5月11日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

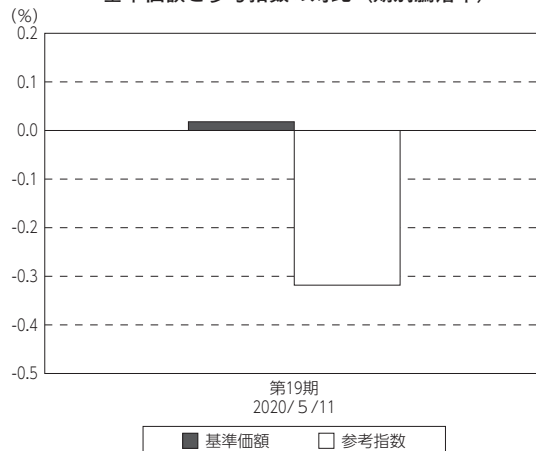
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（基本投資比率に基づいて各マザーファンドのベンチマークより合成）の騰落率が-0.3%となったのに対し、基準価額の騰落率は+0.0%となりました。

主なマイナス要因は、当ファンドの信託報酬、及び各マザーファンドにおける売買コストや保管費用などのコスト負担です。主なプラス要因は、国内株式部分で保有銘柄の配当権利落ちにより未収配当金が計上されたことです。

また、外国資産のマザーファンドとそのベンチマークで評価に用いる為替レートが異なることなどから、基準価額と参考指数の騰落率に評価上の差異が生じる場合があります。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを基本投資比率に基づいて合成した指数です。

**分配金**

(2019年5月11日～2020年5月11日)

- (1) 収益分配金は、基準価額水準等を勘案して決定させていただきました。  
 (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第19期	
	2019年5月11日～2020年5月11日	
当期分配金	5	
(対基準価額比率)	0.030%	
当期の収益	5	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	8,345	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

引き続き、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、これらに分散投資するバランス運用を行うことで、キャピタルゲインとインカムゲインを総合したトータルリターンを獲得を目指します。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

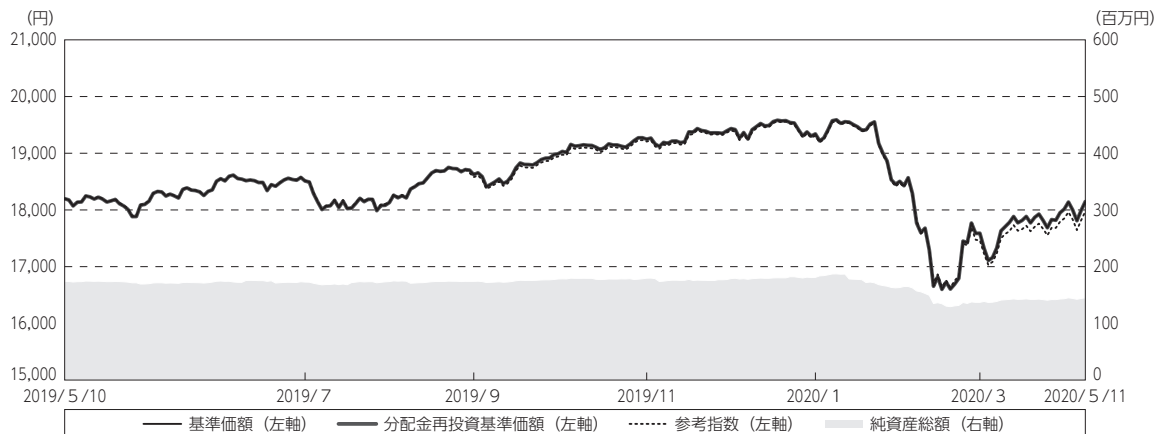


<バランスセレクト50（確定拠出年金向け）>

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2019年5月11日～2020年5月11日）



期首：18,198円

期末：18,143円（既払分配金（税込み）：5円）

騰落率：△0.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを基本投資比率に基づいて合成した指数です。詳細は11ページをご参照ください。参考指数は、作成期首（2019年5月10日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資対象とする4本のマザーファンドの当期間の値動きは、外国株式（-3.3%）、国内株式（-1.9%）、国内債券（-0.0%）が下落し、外国債券（+4.5%）は上昇しました。

国内株式の下落が主な値下がり要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2019年5月11日～2020年5月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投信会社)	( 53)	(0.287)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販売会社)	( 59)	(0.320)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受託会社)	( 10)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式)	( 0)	(0.000)	
( 新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
( 投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
( 先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式)	( 0)	(0.002)	
( 投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.007	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用)	( 1)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用)	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( その他)	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	124	0.672	
期中の平均基準価額は、18,587円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

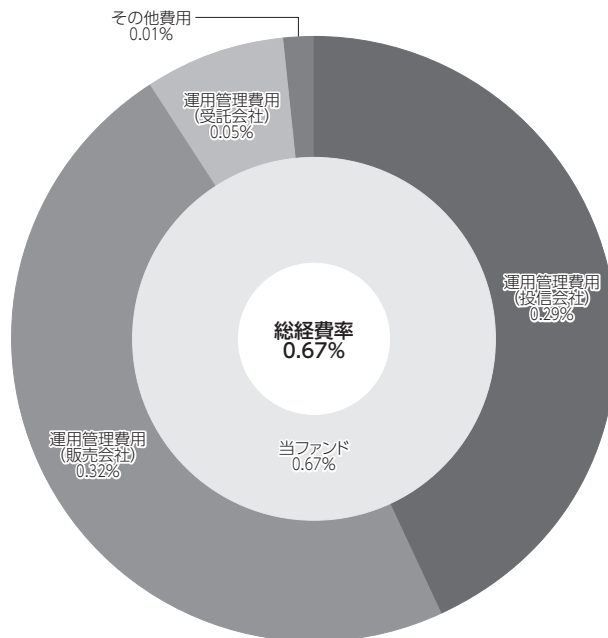
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.67%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2015年5月11日～2020年5月11日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2015年5月11日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年5月11日 決算日	2016年5月10日 決算日	2017年5月10日 決算日	2018年5月10日 決算日	2019年5月10日 決算日	2020年5月11日 決算日
基準価額 (円)	16,994	16,012	17,532	18,588	18,198	18,143
期間分配金合計(税込み) (円)	—	5	5	5	5	5
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	△ 5.7	9.5	6.1	△ 2.1	△ 0.3
参考指数騰落率 (%)	—	△ 5.9	9.4	6.1	△ 2.3	△ 1.2
純資産総額 (百万円)	159	164	160	169	174	145

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

\*参考指数は、「国内株式マザーファンド」（ベンチマーク＝東証株価指数（TOPIX））、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」（ベンチマーク＝MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし））、「国内債券マザーファンド」（ベンチマーク＝NOMURA-BPI国債）、「外国債券マザーファンド」（ベンチマーク＝FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の各ベンチマークから、基本投資比率（国内株式30%、外国株式20%、国内債券40%、外国債券10%）に基づいて独自に合成した指数です。

\*MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）は、MSCIが開発したMSCI-KOKUSAI指数を当社が独自に円換算したものです。円換算にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場中値で円換算しております。

\*FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数値をもとにしております。

(出所) MSCI、FTSE Fixed Income LLC、野村證券株式会社、東京証券取引所、ブルームバーグ

**投資環境**

（2019年5月11日～2020年5月11日）

資産	変動要因等
国内債券	世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速懸念から現金需要が急増したことや、日本政府による経済対策で国債発行が増加するとの見方が広がったことなどを背景に、国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。
外国債券	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気の減速懸念から、主要国の中央銀行が政策金利の引き下げや金融緩和姿勢の強化を打ち出したことなどを背景に、外国債券利回りは米国を中心に低下（価格は上昇）しました。 為替レートは、新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや内外長期金利差縮小などを背景に、主要通貨は対円で下落（円高）しました。
国内株式	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う非常事態宣言などを受け経済活動の停滞懸念が高まったこと、円高に伴う国内輸出関連企業の業績悪化懸念などを背景に、下落しました。
外国株式	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気の減速懸念から3月にかけて下落しましたが、欧米で新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しがみられ段階的な経済活動の再開が示唆されたことなどから、4月以降は回復基調となりました。当運用期間では、欧州株式市場は下落しましたが米国株式市場が上昇し、外国株式全体では上昇となりました。 為替レートは、新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや内外長期金利差縮小などを背景に、主要通貨は対円で下落（円高）しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2019年5月11日～2020年5月11日）

各マザーファンドの日々の基準価額の動きの違いなどにより基本とする投資比率からの乖離が生じますが、原則として3ヵ月毎のリバランスや資金の追加解約に対応した売買などにより、当ファンドの基本とする投資比率からの乖離が小さくなるように運用を行いました。

なお、実質外貨建て資産については、為替ヘッジを行っておりません。

マザーファンドの運用経過については、22ページをご参照ください。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年5月11日～2020年5月11日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

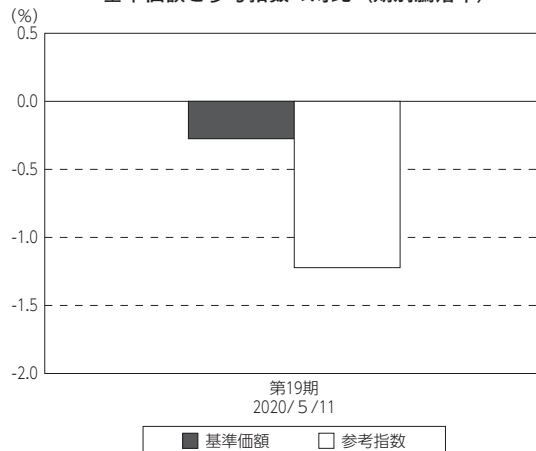
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（基本投資比率に基づいて各マザーファンドのベンチマークより合成）の騰落率が-1.2%となったのに対し、基準価額の騰落率は-0.3%となりました。

主なマイナス要因は、当ファンドの信託報酬、及び各マザーファンドにおける売買コストや保管費用などのコスト負担です。主なプラス要因は、国内株式部分で保有銘柄の配当権利落ちにより未収配当金が計上されたことです。

また、外国資産のマザーファンドとそのベンチマークで評価に用いる為替レートが異なることなどから、基準価額と参考指数の騰落率に評価上の差異が生じる場合があります。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを基本投資比率に基づいて合成した指数です。

## 分配金

(2019年5月11日～2020年5月11日)

- (1) 収益分配金は、基準価額水準等を勘案して決定させていただきました。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第19期	
	2019年5月11日～2020年5月11日	
当期分配金	5	
(対基準価額比率)	0.028%	
当期の収益	5	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	10,759	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

引き続き、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、これらに分散投資するバランス運用を行うことで、キャピタルゲインとインカムゲインを総合したトータルリターンを獲得を目指します。

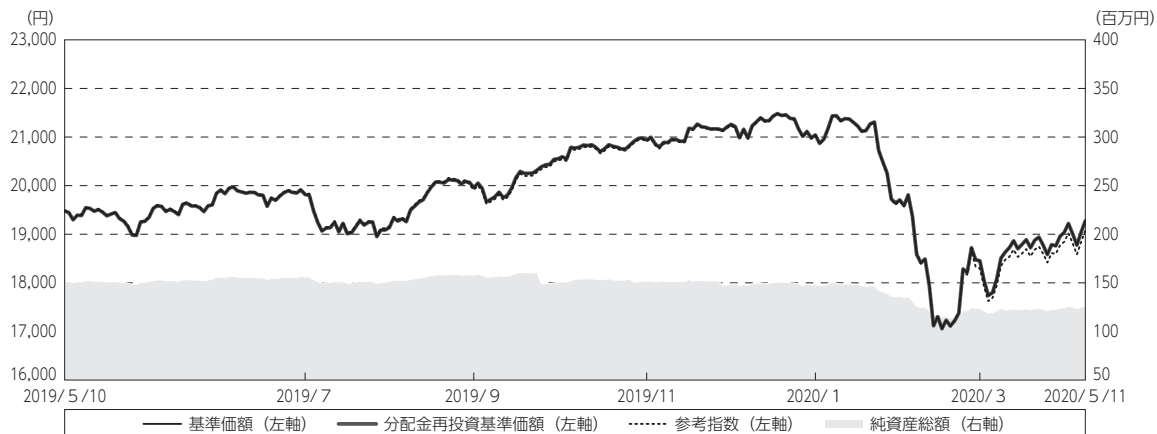
今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<バランスセレクト70（確定拠出年金向け）>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年5月11日～2020年5月11日)



期首：19,481円

期末：19,271円（既払分配金（税込み）：5円）

騰落率：△1.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを基本投資比率に基づいて合成した指数です。詳細は18ページをご参照ください。参考指数は、作成期首（2019年5月10日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

投資対象とする4本のマザーファンドの当期間の値動きは、外国株式（-3.3%）、国内株式（-1.9%）、国内債券（-0.0%）が下落し、外国債券（+4.5%）は上昇しました。

国内株式の下落が主な値下がり要因となりました。



1万口当たりの費用明細

(2019年5月11日～2020年5月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投信会社)	( 64)	(0.320)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販売会社)	( 73)	(0.364)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受託会社)	( 11)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式)	( 0)	(0.000)	
( 新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
( 投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
( 先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式)	( 0)	(0.002)	
( 投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.007	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用)	( 1)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用)	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( その他)	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	148	0.749	
期中の平均基準価額は、19,921円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

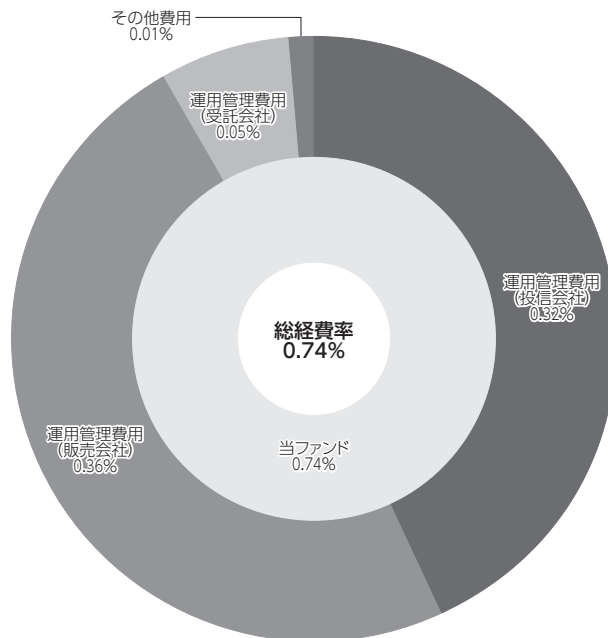
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.74%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2015年5月11日～2020年5月11日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2015年5月11日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年5月11日 決算日	2016年5月10日 決算日	2017年5月10日 決算日	2018年5月10日 決算日	2019年5月10日 決算日	2020年5月11日 決算日
基準価額 (円)	18,263	16,411	18,736	20,314	19,481	19,271
期間分配金合計(税込み) (円)	—	5	5	5	5	5
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	△ 10.1	14.2	8.4	△ 4.1	△ 1.1
参考指数騰落率 (%)	—	△ 10.5	14.0	8.2	△ 4.4	△ 2.1
純資産総額 (百万円)	109	109	124	156	151	126

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

\*参考指数は、「国内株式マザーファンド」（ベンチマーク＝東証株価指数（TOPIX））、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」（ベンチマーク＝MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし））、「国内債券マザーファンド」（ベンチマーク＝NOMURA-BPI国債）、「外国債券マザーファンド」（ベンチマーク＝FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の各ベンチマークから、基本投資比率（国内株式45%、外国株式25%、国内債券20%、外国債券10%）に基づいて独自に合成した指数です。

\*MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）は、MSCIが開発したMSCI-KOKUSAI指数を当社が独自に円換算したものです。円換算にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場中値で円換算しております。

\*FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、基準価額への反映を考慮して営業日前日の指数値をもとにしております。

(出所) MSCI、FTSE Fixed Income LLC、野村證券株式会社、東京証券取引所、ブルームバーグ

**投資環境**

（2019年5月11日～2020年5月11日）

資産	変動要因等
国内債券	世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速懸念から現金需要が急増したことや、日本政府による経済対策で国債発行が増加するとの見方が広がったことなどを背景に、国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。
外国債券	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気の減速懸念から、主要国の中央銀行が政策金利の引き下げや金融緩和姿勢の強化を打ち出したことなどを背景に、外国債券利回りは米国を中心に低下（価格は上昇）しました。 為替レートは、新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや内外長期金利差縮小などを背景に、主要通貨は対円で下落（円高）しました。
国内株式	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う非常事態宣言などを受け経済活動の停滞懸念が高まったこと、円高に伴う国内輸出関連企業の業績悪化懸念などを背景に、下落しました。
外国株式	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気の減速懸念から3月にかけて下落しましたが、欧米で新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しがみられ段階的な経済活動の再開が示唆されたことなどから、4月以降は回復基調となりました。当運用期間では、欧州株式市場は下落しましたが米国株式市場が上昇し、外国株式全体では上昇となりました。 為替レートは、新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや内外長期金利差縮小などを背景に、主要通貨は対円で下落（円高）しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2019年5月11日～2020年5月11日）

各マザーファンドの日々の基準価額の動きの違いなどにより基本とする投資比率からの乖離が生じますが、原則として3ヵ月毎のリバランスや資金の追加解約に対応した売買などにより、当ファンドの基本とする投資比率からの乖離が小さくなるように運用を行いました。

なお、実質外貨建て資産については、為替ヘッジを行っておりません。

マザーファンドの運用経過については、22ページをご参照ください。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年5月11日～2020年5月11日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

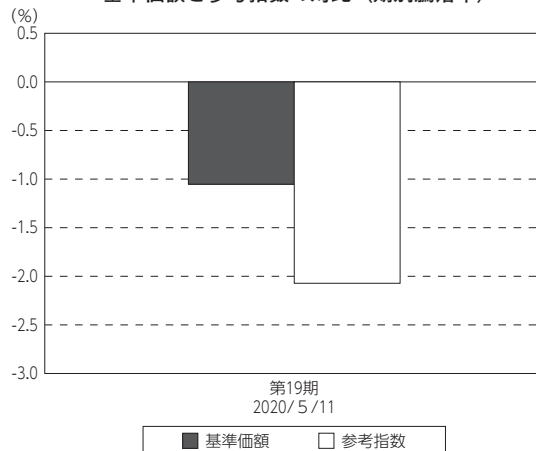
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（基本投資比率に基づいて各マザーファンドのベンチマークより合成）の騰落率が-2.1%となったのに対し、基準価額の騰落率は-1.1%となりました。

主なマイナス要因は、当ファンドの信託報酬、及び各マザーファンドにおける売買コストや保管費用などのコスト負担です。主なプラス要因は、国内株式部分で保有銘柄の配当権利落ちにより未収配当金が計上されたことです。

また、外国資産のマザーファンドとそのベンチマークで評価に用いる為替レートが異なることなどから、基準価額と参考指数の騰落率に評価上の差異が生じる場合があります。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、投資対象とする各マザーファンドのベンチマークを基本投資比率に基づいて合成した指数です。

## 分配金

（2019年5月11日～2020年5月11日）

- (1) 収益分配金は、基準価額水準等を勘案して決定させていただきました。  
 (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第19期	
	2019年5月11日～2020年5月11日	
当期分配金	5	
（対基準価額比率）	0.026%	
当期の収益	5	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	12,541	

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

引き続き、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、これらに分散投資するバランス運用を行うことで、キャピタルゲインとインカムゲインを総合したトータルリターンを獲得を目指します。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## マザーファンドの運用経過

### 【国内株式マザーファンド】

東証株価指数（TOPIX）に連動する投資成果を目指し、先物を含む実質の株式組入比率は当運用期間を通じて高位に維持しました。現物株式につきましては、東証1部上場銘柄に幅広く分散投資し、個別銘柄の時価構成比がポートフォリオと東証株価指数でほぼ同水準になるように銘柄見直し及び銘柄間の投資比率調整を適宜行ってまいりました。ただし、財務評価の視点から一部の銘柄は組み入れを見合わせました。また、日々の追加設定・解約による資金移動に対しては売買にかかるコストなどを考慮し、株式先物を利用してまいりました。

### 【外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド】

MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指し、株式（投資信託証券や先物を含む）組入比率は当運用期間を通じて高位に維持しました。現物株式への投資にあたっては、各銘柄への投資比率を各銘柄がMSCI-KOKUSAI指数の中で占める比率にほぼ一致させ、MSCI-KOKUSAI指数の変更（銘柄入れ替え、比率変更など）に対応して適宜ポートフォリオの見直しおよび修正を行い、また資金流入に対しても速やかに対応しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いませんでした。

### 【国内債券マザーファンド】

NOMURA-BPI国債の動きに連動する投資成果を目指して運用を行い、満期構成、デュレーション（金利感応度）などを考慮して選択した日本国債に分散投資しました。指数構成銘柄に変更がある毎月末において、ファンドの特性値（デュレーションなど）を指数に合わせるようにポートフォリオのリバランス（投資比率の再調整）を行いました。債券組入比率は当運用期間を通じて高位に維持しました。

### 【外国債券マザーファンド】

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）の中長期的な動きを概ね捉えるため、通貨構成、満期構成、デュレーション（金利感応度）、流動性などを考慮して選択した指数構成国の国債に分散投資しました。毎月末における指数構成銘柄の変更に対応し、ファンドの特性値（通貨構成や平均デュレーションなど）を指数に合わせるようにポートフォリオのリバランス（投資比率の再調整）を行いました。債券組入比率は当運用期間を通じて高位に維持しました。なお、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

TOPIXの指数値及びTOPIXの商標は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利及びTOPIXの商標に関するすべての権利は東証が有します。  
東証は本ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

MSCI指数は、MSCIが独占的に所有しています。MSCI及びMSCI指数は、MSCI及びその関係会社のサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は特定の目的のためにその使用を許諾されています。  
ここに記載されたいかなるファンドも、MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者のいかなる者がその合法性および適合性に関して判断したものではなく、また、これを発行、後援、推奨、販売、運用または宣伝するものでもなく、ここに記載されたいかなるファンドに関していかなる保証も行わず、いかなる責任も負いません。  
請求目論見書には、MSCIが野村アセットマネジメント株式会社およびその関連するファンドと有する限定的な関係について、より詳細な記述があります。

NOMURA-BPIIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社は、ファンドの運用成果に関して一切の責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。



## お知らせ

### <バランスセレクト30/50/70（確定拠出年金向け）>

該当事項はございません。

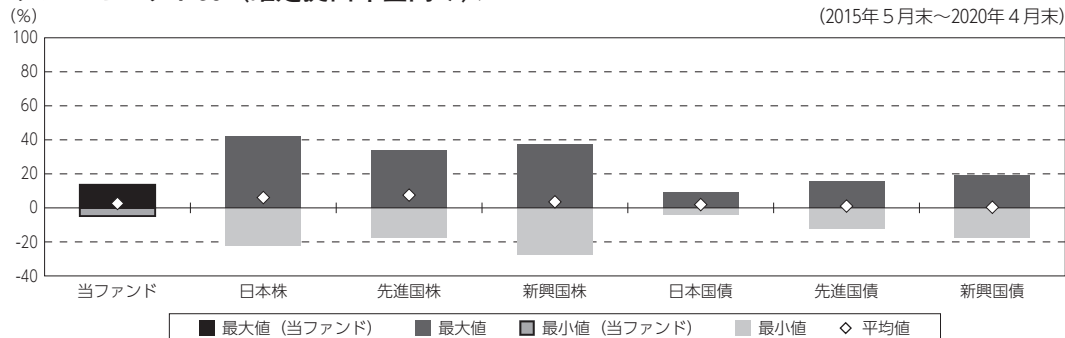
## 各ファンドの概要

		バランスセレクト30 （確定拠出年金向け）	バランスセレクト50 （確定拠出年金向け）	バランスセレクト70 （確定拠出年金向け）
商品分類	追加型投信／内外／資産複合／インデックス型			
信託期間	2001年11月22日以降、無期限とします。			
運用方針	内外の株式および公社債に実質的に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 各マザーファンドへの投資比率は以下を基本とし、原則として3ヵ月毎にリバランスを行います。			
	国内株式マザーファンド	20%	30%	45%
	外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド	10%	20%	25%
	国内債券マザーファンド	55%	40%	20%
	外国債券マザーファンド	15%	10%	10%
主要投資対象	バランスセレクト30/50/70 （確定拠出年金向け）	「国内株式マザーファンド」受益証券、「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」受益証券、「国内債券マザーファンド」受益証券および「外国債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式および公社債に直接投資する場合があります。		
	国内株式マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。		
	外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド	外国の株式を主要投資対象とします。		
	国内債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。		
	外国債券マザーファンド	外国の公社債を主要投資対象とします。		
運用方法	各マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として内外の株式および公社債に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。			
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。			

(参考情報)

○各ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

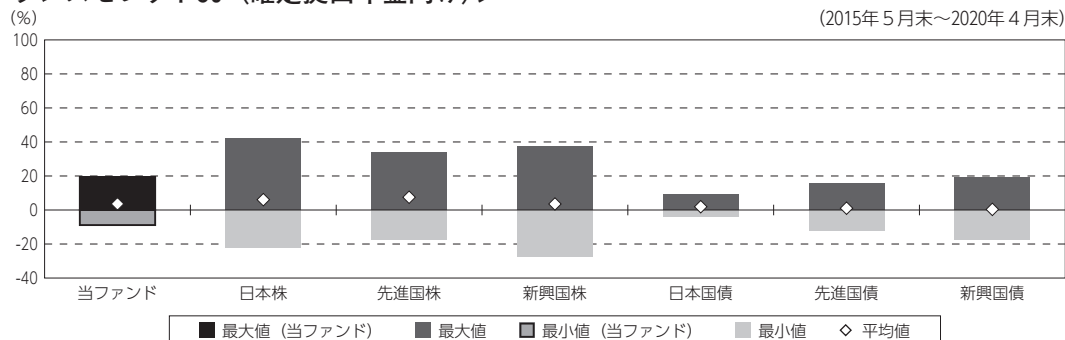
<バランスセレクト30 (確定拠出年金向け)>



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	13.6	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 4.8	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	2.6	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4

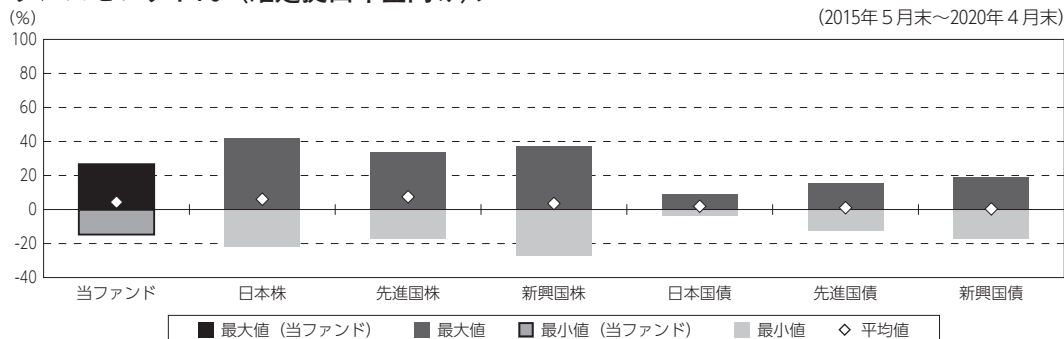
<バランスセレクト50 (確定拠出年金向け)>



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.4	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 8.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	3.6	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4

<バランスセレクト70（確定拠出年金向け）>



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	26.6	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 14.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	4.4	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年5月から2020年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSA1指数（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 各ファンドのデータ

<バランスセレクト30（確定拠出年金向け）>

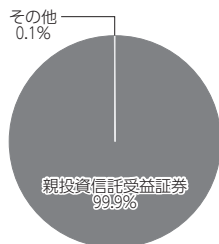
### 組入資産の内容

（2020年5月11日現在）

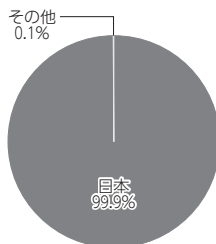
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末 %
国内債券マザーファンド	54.5
国内株式マザーファンド	20.3
外国債券マザーファンド	14.9
外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド	10.2
組入銘柄数	4銘柄

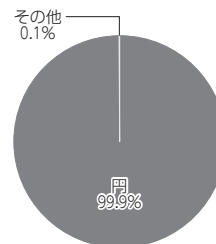
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注）国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第19期末
	2020年5月11日
純資産総額	53,271,685円
受益権総口数	32,062,212口
1万円当たり基準価額	16,615円

（注）期中における追加設定元本額は3,602,449円、同解約元本額は9,586,674円です。

## 各ファンドのデータ

<バランスセレクト50（確定拠出年金向け）>

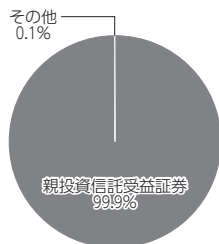
### 組入資産の内容

（2020年5月11日現在）

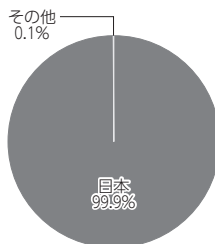
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末
	%
国内債券マザーファンド	39.4
国内株式マザーファンド	30.3
外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド	20.3
外国債券マザーファンド	9.9
組入銘柄数	4銘柄

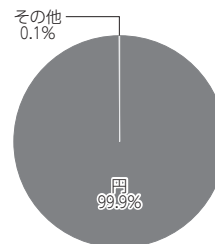
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注）国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第19期末
	2020年5月11日
純資産総額	145,049,550円
受益権総口数	79,948,647口
1万口当たり基準価額	18,143円

（注）期中における追加設定元本額は20,713,990円、同解約元本額は36,394,137円です。

## 各ファンドのデータ

<バランスセレクト70（確定拠出年金向け）>

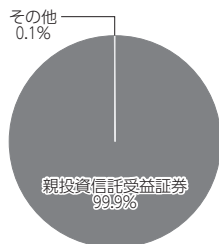
### 組入資産の内容

（2020年5月11日現在）

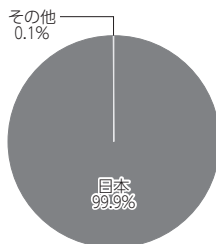
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末 %
国内株式マザーファンド	45.2
外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド	25.2
国内債券マザーファンド	19.7
外国債券マザーファンド	9.8
組入銘柄数	4銘柄

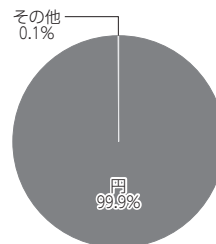
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

（注）国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第19期末
	2020年5月11日
純資産総額	126,544,361円
受益権総口数	65,666,205口
1万円当たり基準価額	19,271円

（注）期中における追加設定元本額は7,204,933円、同解約元本額は19,348,801円です。

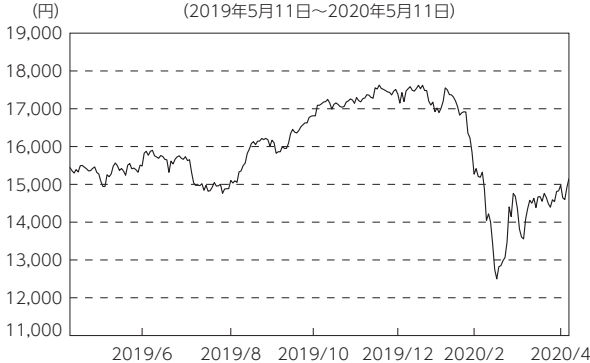
## 組入上位ファンドの概要

### 国内株式マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

#### 【基準価額の推移】

(2019年5月11日～2020年5月11日)



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2019年5月11日～2020年5月11日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.000)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.002)
合計	0	0.002

期中の平均基準価額は、15,856円です。

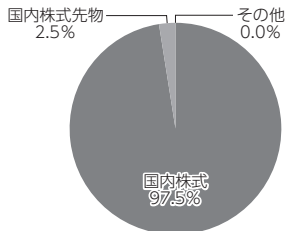
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

#### 【組入上位10銘柄】

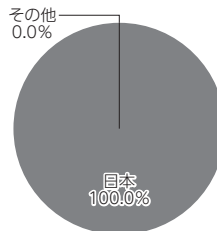
(2020年5月11日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	3.5%
2	TOPIX 2006	株式先物(買建)	円	日本	2.5
3	ソニー	電気機器	円	日本	2.1
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	1.7
5	キーエンス	電気機器	円	日本	1.7
6	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	1.5
7	武田薬品工業	医薬品	円	日本	1.5
8	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	1.3
9	任天堂	その他製品	円	日本	1.3
10	KDDI	情報・通信業	円	日本	1.1
組入銘柄数			2,157銘柄		

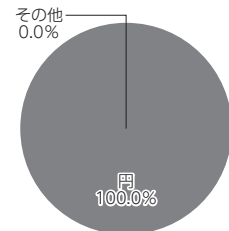
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】

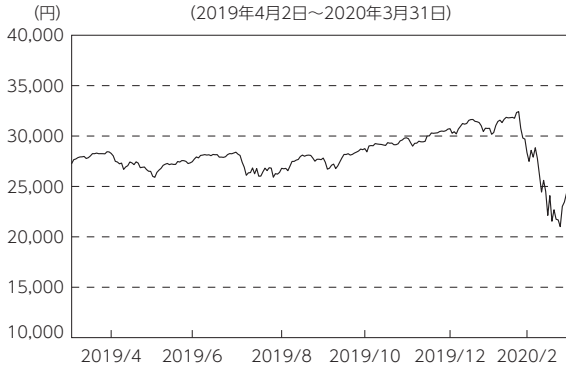


(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

外国株式 MSCI-KOKUSAI マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年4月2日～2020年3月31日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (0) (0) (0)	0.002 (0.001) (0.000) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.008 (0.008) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.010 (0.009) (0.000)
合 計	6	0.020

期中の平均基準価額は、28,483円です。

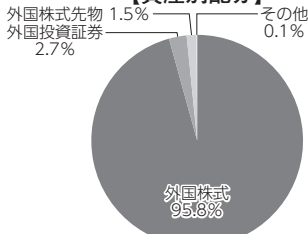
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

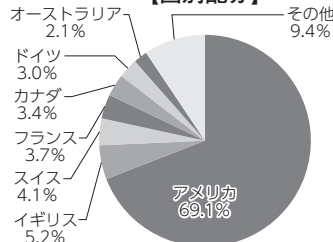
(2020年3月31日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 MICROSOFT CORP	ソフトウェア	米ドル	アメリカ	3.6%
2 APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	米ドル	アメリカ	3.5%
3 AMAZON.COM INC	インターネット販売・通信販売	米ドル	アメリカ	2.5%
4 FACEBOOK INC-A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	1.2%
5 ALPHABET INC-CL C	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	1.1%
6 SPEM INI 2006	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	1.1%
7 JOHNSON & JOHNSON	医薬品	米ドル	アメリカ	1.1%
8 ALPHABET INC-CL A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	1.1%
9 NESTLE SA-REG	食品	スイスフラン	スイス	0.9%
10 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	0.9%
組入銘柄数		1,327銘柄		

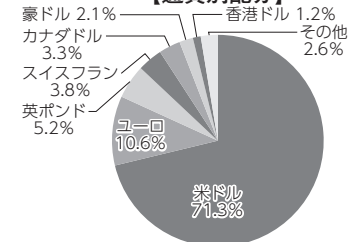
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



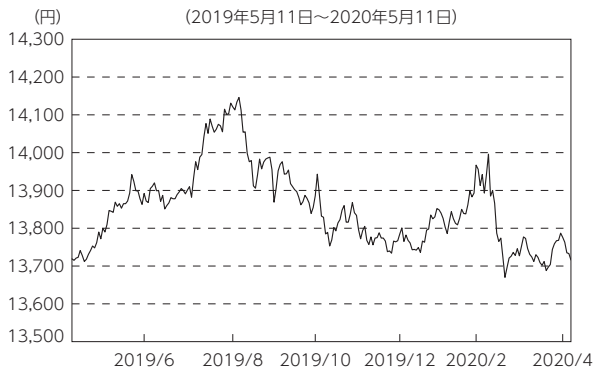
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。



## 国内債券マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

### 【基準価額の推移】



### 【1万口当たりの費用明細】

(2019年5月11日～2020年5月11日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、13,875円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

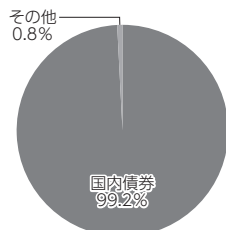
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### 【組入上位10銘柄】

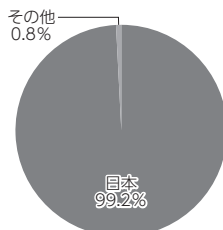
(2020年5月11日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	国庫債券 利付(5年)第139回	国債	円	日本	2.0
2	国庫債券 利付(10年)第345回	国債	円	日本	1.8
3	国庫債券 利付(10年)第342回	国債	円	日本	1.7
4	国庫債券 利付(10年)第350回	国債	円	日本	1.6
5	国庫債券 利付(10年)第340回	国債	円	日本	1.5
6	国庫債券 利付(5年)第134回	国債	円	日本	1.5
7	国庫債券 利付(10年)第352回	国債	円	日本	1.4
8	国庫債券 利付(5年)第132回	国債	円	日本	1.3
9	国庫債券 利付(5年)第129回	国債	円	日本	1.3
10	国庫債券 利付(5年)第130回	国債	円	日本	1.3
	組入銘柄数		248銘柄		

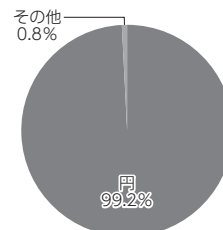
### 【資産別配分】



### 【国別配分】



### 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

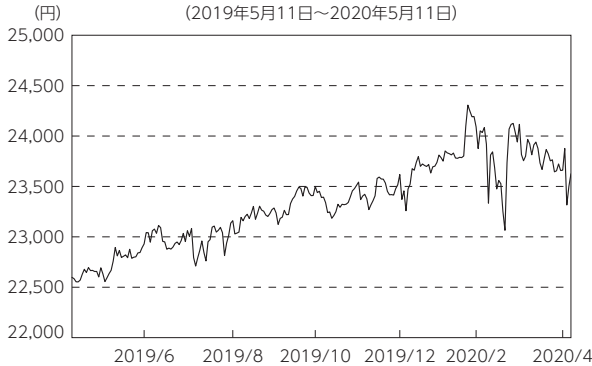
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

外国債券マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年5月11日～2020年5月11日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	3	0.014
（保管費用）	(2)	(0.010)
（その他）	(1)	(0.003)
合計	3	0.014

期中の平均基準価額は、23,442円です。

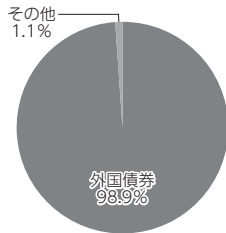
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

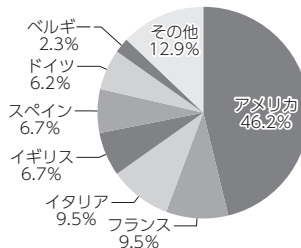
(2020年5月11日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 US TREASURY BOND 6% 2026/2/15	国債	米ドル	アメリカ	1.8
2 US TREASURY N/B 2.5% 2022/1/15	国債	米ドル	アメリカ	1.6
3 US TREASURY BOND 5.25% 2028/11/15	国債	米ドル	アメリカ	1.3
4 US TREASURY BOND 5.5% 2028/8/15	国債	米ドル	アメリカ	1.2
5 US TREASURY N/B 2.5% 2046/2/15	国債	米ドル	アメリカ	1.2
6 US TREASURY N/B 2.25% 2025/11/15	国債	米ドル	アメリカ	1.0
7 US TREASURY N/B 5.375% 2031/2/15	国債	米ドル	アメリカ	1.0
8 UK TSY 3 1/4% 2044 3.25% 2044/1/22	国債	英ポンド	イギリス	1.0
9 SPANISH GOVERNMENT 5.75% 2032/7/30	国債	ユーロ	スペイン	1.0
10 FRANCE GOVERNMENT O.A.T 3.25% 2045/5/25	国債	ユーロ	フランス	1.0
組入銘柄数		600銘柄		

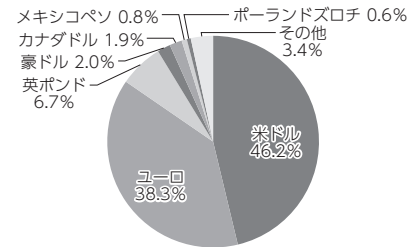
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### ○MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### ○JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

「JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。米国のJ.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMSLLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD、NYSE、SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他）